

慶應義塾医学部新聞 発行所 三四会医学部新聞編集室 千160-8582 東京都新宿区信濃町35 電話(3353)1211 内線64996 会員については会費を三純発行人に購読料が含む 毎月1回20日発行

信濃町駅前・各種診療 慶應義塾大学病院 外来診療時間 午前8時30分～午後12時 午後1時～午後7時(土曜・日・祭日を除く) 電話 03-3353-1211(内線64996)

平成28年熊本地震

被災地支援に、慶應義塾大学病院がDMATを派遣

救急医学教授 佐々木 淳一(68回) 助教 洪沢 崇行(85回)



益城町の避難所内に設置された診療所で受診者への対応をするDMAT隊員



交代で現地入りした他の医療救護班隊員と共に

この度の平成28年熊本地震(以下、熊本地震)で被災された方々、日本DMAT(Disaster Medical Assistance Team: 災害派遣医療チーム)指定医療機関でもあります。慶應義塾大学病院は、熊本地震被災地支援にDMATを派遣し、被災地での医療支援に貢献しています。

現場は、被災地の熊本県益城町にあり、被災地の状況は、熊本地震発生後、九州各地で発生した地震に比べて、震度が高く、被害も甚大です。DMATは、被災地での医療支援に貢献しています。

このたび、国が研究センター中央病院から、20年ぶりに慶應義塾大学にDMATを派遣することになりました。DMATは、被災地での医療支援に貢献しています。

救急医学教授を拜命して 佐々木 淳一(68回) 救急医学教授 佐々木 淳一(68回)

平成28年4月1日付け、救急医学教授を拜命して、救急医学教授 佐々木 淳一(68回) 救急医学教授 佐々木 淳一(68回)

神奈川県川崎市に新キャンパス開設 推進タスクフォース

衛生学公衆衛生学 武林 亨(68回)

本年4月1日、新川崎キャンパスの先陣として、慶應義塾大学が、川崎市に新キャンパスを開設しました。これは、慶應義塾大学の歴史を刻む一大事業です。



「殿町キングスカイフロント」は、ライフサイエンスや環境分野のオープンイノベーション拠点。このエリア内に慶應の殿町キャンパスが開設。

このキャンパスは、最新の設備と人材を揃え、先端研究を推進する拠点として開設されます。これは、慶應義塾大学の歴史を刻む一大事業です。

北里記念式の挙行について 本年は初代本学部長北里柴三郎先生の85年祭にあたり、医学部と三四会との共催により、下記により北里記念式を執り行うことになりました。

平成28年度三四会評議員会開催のお知らせ 会則20条に則り、次のように開催します。日時:平成28年6月11日(土)午後3時～5時

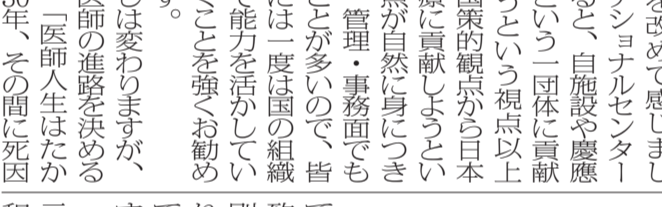
このたび、国が研究センター中央病院から、20年ぶりに慶應義塾大学にDMATを派遣することになりました。DMATは、被災地での医療支援に貢献しています。

救急医学教授を拜命して 佐々木 淳一(68回) 救急医学教授 佐々木 淳一(68回)

平成28年4月1日付け、救急医学教授を拜命して、救急医学教授 佐々木 淳一(68回) 救急医学教授 佐々木 淳一(68回)

北里記念式の挙行について 本年は初代本学部長北里柴三郎先生の85年祭にあたり、医学部と三四会との共催により、下記により北里記念式を執り行うことになりました。

平成28年度三四会評議員会開催のお知らせ 会則20条に則り、次のように開催します。日時:平成28年6月11日(土)午後3時～5時



救急医学教授を拜命して 佐々木 淳一(68回) 救急医学教授 佐々木 淳一(68回)

平成28年4月1日付け、救急医学教授を拜命して、救急医学教授 佐々木 淳一(68回) 救急医学教授 佐々木 淳一(68回)

北里記念式の挙行について 本年は初代本学部長北里柴三郎先生の85年祭にあたり、医学部と三四会との共催により、下記により北里記念式を執り行うことになりました。

平成28年度三四会評議員会開催のお知らせ 会則20条に則り、次のように開催します。日時:平成28年6月11日(土)午後3時～5時

教授就任

輸血・細胞療法センター教授 田野崎 隆二(64回) トップの悪性新生物の治癒は、造血幹細胞移植に没頭する。田野崎教授は、造血幹細胞移植の第一人者として知られる。

救急医学教授を拜命して 佐々木 淳一(68回) 救急医学教授 佐々木 淳一(68回)

新入生アンケート結果から見る「イマドキ医学生事情」とは 101回生114名に調査 4月1日を以て慶應義塾大学へ入学した101回生は114名であった。

北里記念式の挙行について 本年は初代本学部長北里柴三郎先生の85年祭にあたり、医学部と三四会との共催により、下記により北里記念式を執り行うことになりました。

趣味を享受しました。慶應義塾には腫瘍免疫や再生医療の専門家として多くの産業界の方がいます。私の抱負の一つは、医師になることからの夢であった本格的な細胞治療に取り組み、基礎と臨床の橋渡しをして治療に貢献することです。



田野崎 隆二